

# 開館から6年を

## むかえます



滋賀県平和祈念館は、平成24年(2012年)3月17日に開館しました。

新作DVD上映会、戦争体験を聞く会、平和の学校あかりやボランティアグループの発表、当館職員の活動報告などを行います。



ともしび

『平和の燈』点灯式の様子 (平成24年3月17日)

当館ボランティアグループによる「ボランティア活動報告パネル展」を開催

### 平成30年3月11日(日) 場所:2階 研修室・多目的室

- 10:00~10:50 新作DVD「戦争証言2017」上映会
- 11:00~12:00 平和祈念館事業活動報告会
  - 「滋賀県民の戦争体験」 (学芸担当職員)
  - 「戦争体験聞き取り調査」 (調査担当職員)
  - 「学校への平和学習支援」 (教育普及担当職員)
- 12:00~12:40 活動発表会① (ボランティアグループ)
  - 戦時食グループによる戦時食提供 (2階多目的室)
- 13:00~13:30 「自分史づくり」講座報告会
- 13:40~15:10 戦争体験を聞く会
  - 早瀬<sup>はやせ</sup>允人<sup>のぶひと</sup>さん (近江八幡市在住、昭和5年生まれ)
  - 「命を守った鉄かぶと  
—大阪空襲・住友金属での体験談—
- 15:20~15:50 活動発表会② (ピーススクール生)
  - ピーススクール生からの活動発表
- 16:00~16:40 活動発表会③ (ボランティアグループ)
  - 創作劇・人形劇・紙芝居グループによる上演

# 戦争体験を聞く会

○ 3月11日(日) 13:40~15:10

## 「命を守った鉄かぶと -大阪空襲・住友金属での体験談-」

はやせのぶひと  
**早瀬 允人** さん (昭和5年生まれ 近江八幡市在住)

戦時中、大阪市内を転々とする中、昭和19年3月、広野国民学校高等科を卒業。その後、住友金属桜島製作所に就職。軍需工場として様々な作業に携わる中、設計課へ。大阪市内の空襲が激しくなる中、桜島製作所は柏原へ工場疎開をする。柏原では機銃掃射に遭い、九死に一生を得る体験をされるなど、当時の体験談と戦後の生活についてお話しいたします。



昨年度の周年事業・戦争体験を聞く会のようす

- ・若い世代の私たちが戦争を知ることの意味があると思います。少しでも周囲に広げられたらと思っています。
- ・語り部の方が年々少なくなる中で、つらい思い出や体験を聞かせていただくことはとても価値のあるものだと感じました。
- ・これから未来に進んでいく中でも二度と戦争がないようにするためには過去をしっかりと受け継いで、つなぐことが大切だと感じました。

(これまでの参加者の感想より)

## 平和祈念館ボランティアグループによる

# ボランティア活動報告展

2階ロビーにて

現在、当館には60名あまりの方々がボランティアとして登録され、さまざまなグループに所属して活動していただくとともに、当館をさまざまな面でサポートしていただいております。

各グループが今までどのような活動をしてきたか、また現在どのような活動をしているかをパネルや成果物で展示報告していただきます。

### ボランティア活動・グループ

- 来館者案内活動
- 語り部・語り継ぎ部活動
- 戦時食グループ
- 創作劇・紙芝居グループ
- 手紙等解読グループ
- 聞き取りグループ
- 情報紙制作活動
- 大風づくりグループ



## 会場: 滋賀県平和祈念館

(東近江市下中野町431番地)

お問い合わせは滋賀県平和祈念館まで。

電話: 0749-46-0300

ファックス: 0749-46-0350

メール: heiwa@pref.shiga.lg.jp

- 名神高速道路「八日市IC」から車で約10分
- JR琵琶湖線(東海道線)彦根駅または近江八幡駅乗り換え、近江鉄道八日市駅からバスで約20分「愛東支所・診療所前」下車すぐ